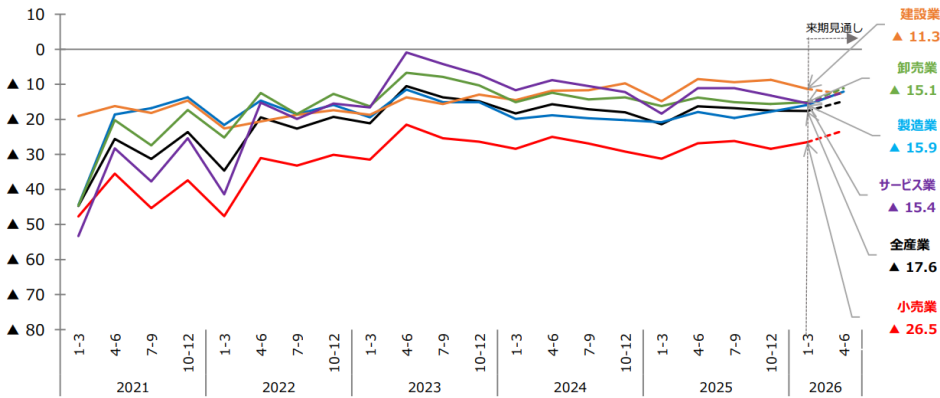


1. 業況判断DI、3期連続して低下～第183回・中小企業景況調査（2026年1-3月期）～

中小機構では2026年3月、「第183回中小企業景況調査(2026年1-3月期)」の結果を公表しました。
中小企業の業況判断DIは、▲17.6（前期差 0.1 ポイント減）となり、3期連続で低下となりました。

第183回 調査結果のポイント

■ 業況判断DI（前年同期比）※「好転」－「悪化」で算出



※前年同期(2025年1-3月期)と比べて「好転」「不変」「悪化」で回答。

< 調査の概要 >

調査時点：2026年3月1日時点
調査対象：全国の中小企業
調査対象企業数：18,825社
有効回答企業数：17,895社
有効回答率：95.1%

1. 業況判断DIは、3期連続の低下

全産業の「業況判断DI（前年同期比）」（2026年3月1日時点）は、前期（2025年10-12月期）から0.1ポイント減（▲17.6）と3期連続して低下。産業別では、製造業で1.9ポイント増（▲15.9）、小売業で1.9ポイント増（▲26.5）、卸売業で0.5ポイント増（▲15.1）と上昇、一方、建設業で2.6ポイント減（▲11.3）、サービス業で2.2ポイント減（▲15.4）と低下している。来期見通しは、建設業を除くすべての産業で上昇している。

2. 製造業の引合いDIは、改善傾向

製造業の「売上単価・客単価DI（前年同期比）」は非製造業と比べて高い水準で推移する中、製造業の「引合いDI（前年同期比）」は2期連続で上昇している。非製造業のサービス業における「利用客数DI（前年同期比）」は2023年4-6月期（9.5）から25ポイント低下している。

3. 宿泊業の利用客数DIが減少

宿泊業の「業況判断DI（前年同期比）」は、前期（2025年10-12月期）から19.1ポイント減（▲18.4）とプラスからマイナスに転じており、また、「利用客数DI（前年同期比）」も同様に前期から22.9ポイント減（▲21.6）となっている。今期の「利用客数DI（前年同期比）」を地域別に見ると、北海道以外のすべての地域で低下している。

▼ 詳細はこちら

中小企業景況調査HP https://www.smrj.go.jp/research_case/survey/index.html



< 中小企業景況調査とは > 中小機構では、中小企業の景況を把握し、中小企業施策立案の基礎資料を収集することを目的に、四半期に一度、全国商工会連合会、日本商工会議所及び全国中小企業団体中央会の協力を得て、産業別、地域別等に算出する景況調査を実施しています。約80%が小規模事業者、うち、約50%を個人事業主が占める、日本の中小企業の実態を踏まえた、1980年から40年以上続く調査です。

2. J-Net21をリニューアル 信頼できる情報源から、補助金・支援策・事例などをかんたん検索

中小企業ビジネス支援サイトJ-Net21は、2026年3月2日にリニューアルを行い、デザインの刷新に加え、検索性の向上や個人設定機能の追加などを実施し、中小企業の皆様にとって必要な情報によりアクセスしやすいサイトに改善いたしました。

POINT

①ニュースカテゴリのタブを新設

ニュースは「イベント」「公募」「調査」「事例」「支援」「ビジネスQ&A」の6つのカテゴリで表示され、トップページ上のタブ切替により、新着情報をかんたんに確認できます。

②経営課題解決メニューの設置

「経営戦略」「商品開発」「販路開拓・海外展開」「資金繰り」「人手不足」など、経営課題ごとに記事や支援策が整理され、目的に沿った情報を効率よく探すことができます。

③個人設定機能を追加

利用者が登録した「経営課題」や「地域」に応じて、記事が自動で表示され、関心に合わせた情報へアクセスしやすくなりました。

④関連記事の自動表示

閲覧中の記事と共通の課題やテーマをもとに、関連コンテンツを自動抽出し、ページ下部または横に表示します。

支援情報ヘッドライン

支援情報ヘッドラインは、国や都道府県などの公的な支援機関による補助金や助成金、セミナー、イベントなどをまとめて検索できる、J-Net21の主要コンテンツです。日々、約80~100件の情報を更新しています。

今回のリニューアルでは、個人設定に基づく「おすすめの支援情報」の自動表示に加え、記事を保存できるお気に入り機能や閲覧履歴の確認が可能となり、必要な支援策を継続して追いつくようになりました。検索性も向上し、目的の情報へスムーズに到達できます。

 **J-Net 21**
中小企業ビジネス支援サイト

